

4. 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業【シーズ創出ステージ】 (養殖魚の育種効率化に向けた育種パイプラインの構築とその実証)

吉川壮太

我が国は世界有数の水産国でありながら、ゲノム育種分野においては先進国であるとは言い難い。本事業では、農林水産技術会議の公募事業として、水産業におけるゲノム育種の発展を促す基礎研究に取り組んでいる。具体的には東京大学を代表機関として、次世代シーケンサーを用いたゲノミックセレクション法を確立し、主要養殖魚種で適用できる実用的なゲノム育種プラットフォームの構築を目的

としている。

当水産試験場は、ゲノム予測育種値を用いたトラフグ優良親魚の選抜を担当している。本年度は、初回解析用のサンプル集団を収集してその表現型値およびゲノムサンプルの取得を行った。また、得られたゲノム育種値を利用して評価集団の作出を行った。

(担当：吉川)